

べる きっず

No.3 令和6年
6月14日

すずか幼稚園
第2すずかきしおか幼稚園

プール開き

本年度も園内プールでの「プール遊び」を開始するため、水での事故がないように「プール開き」をしました。

本園のプールは、すずか幼稚園、第2すずかきしおか幼稚園ともに組み立て式のプールで、普段は子どもたちが目にすることはありません。プールの時期が近づくとプールを組み立て、「プール開き」のお参りをしています。

本年度は、6月12日(水)に両幼稚園で理事長先生の「般若心経」に合わせて年長児がお参りをしました。

プール遊びは、子どもの五感の発達につながると言われます。水遊びをすると、手や足、目や耳など、身体全体で水と触れあうため、さまざまな感覚が磨かれていくそうです。水の中では浮力がはたらくため、普段とは異なる感覚でバランスをとらなければなりません。水は予想外の動きをすることもするため、バランス感覚が養われると同時に、臨機応変に対応する力も身につくそうです。水の面白さや怖さを体験的に知れることも、プール遊びの効果のひとつではないでしょうか。また、子どもの身体能力の発達にもつながります。水の中で動くためには、大きな力やエネルギーが必要です。水遊びを通して、筋力や体力が養われると思います。

本園では、プール遊びを安全に実施するため、「プール活動緊急対応マニュアル」を策定しており、このマニュアルに則して活動を行っています。

6月12日のプール開きの後、13日(木)から8月5日(月)の登園日までプール遊びをしていく予定です。全園児が一度にプール遊びをすることはできませんので、学年やクラスで順番にプール遊びを続けていきますが、雨天や気温が低い時には中止しますので、計画通りの回数のプール遊びができるとは限らないのが辛いところと感じております。

両園では、教員がしっかりと見守ることにより事故がないよう、また子どもたちが楽しくプール遊びができるように努めてまいりたいと考えております。



プール活動 緊急対応マニュアル



すずか幼稚園
第2すずかきしおか幼稚園



熱中症対策

夏が近づくと「熱中症」の言葉が飛び交い、その対策が叫ばれます。特に近年は、「夏日」はもちろん、「猛暑日」と呼ばれる気温となることが普通になってきました。熱中症は、体温が上がり、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり体温の調節機能が働かなくなったりして、体温の上昇やめまい、けいれん、頭痛などのさまざまな症状を起こす病気のことです。幼児は身長が低い分地表に近く、熱中症を発症しやすいと言われています。

本園では、熱中症の対策のため、令和5年度に「熱中症対策マニュアル」を作成し、熱中症の発症が疑われる場合の対策はもちろんのこと、熱中症を防ぐための「日常の取り組み」などを取り決めています。本園のマニュアルの中から日常の取り組みの一部を紹介します。

熱中症対策マニュアル



①暑さ指数の確認

- ・WBGT計測器を正しく使用すること。
- ・計測期間における計測回数は、原則3回とする。

朝 8:30、昼 12:30、降園直前 14:30(13:00 降園日を除く)

対応

- ・WBGT31℃以上の場合、園庭での遊びは原則中止とする。
- ・WBGT28℃~31℃の場合、園庭での遊びを行う場合は、連続して20分以上は行わないこと。途中休憩(水分補給等)を入れること。園庭での遊びを中止することも検討すること。
- ・WBGT21℃~28℃の場合、園庭での遊びを行う場合は、連続して30分以上は行わないこと。途中休憩(水分補給等)を入れること。
- ・WBGT21℃未満の場合、園庭での遊びは可能。ただし、途中休憩等を検討すること。

暑さ指数(WBGT: Wet Bulb Globe Temperature: 湿球黒球温度)とは、熱中症の危険度を判断する環境条件の指標です。気温、湿度など周辺の熱環境や風の要素を取り入れた指標で、単位は、気温と同じ℃を用います。WBGTを測るためには、専用の計測器を使う必要があります。(右写真)

左: 教室用簡易測定器
右: 職員室用測定器



②当日の熱中症警戒アラートを確認する。

- ・前日の17:00時及び当日の朝5:00に最新の予測値を基に発表される。

対応

- ・前日から発表されている場合、当日の朝に発表されている場合は、園庭での朝の遊びは原則中止とする。
- ・昼12:00、降園直前14:30にWBGTの計測を行い、上記①の対応に基づいて園庭遊びを検討する。

本園では、プール遊びに際しても次のように決めています。(熱中症対策のため)
「水温+気温が65℃以上の時には、プール遊びは禁止」(日本水泳連盟の規則を基に)
・水温+気温が65℃以上にならないように、水温を調整する。
・プール遊びの途中で水温を測り、高くなったら水道水を加える。